

2022年11月4日（金） 森林総合研究所主催ウェビナー

# **IPBES総会第9回会合から見えてきた 研究面でのインパクトと課題**

**～開催趣旨～**

# IPBESとは？

## Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学 - 政策プラットフォーム

- 2012年設立の独立した政府間機関
- 生物多様性保全と持続可能な利用を通じた人類の福利、持続可能な発展を目的として活動
- 生物多様性条約等の国際条約や各国政策を科学的に支援
- 多数の評価報告書（アセスメント）を作成・公表

→ 詳細は尼子氏の講演で紹介

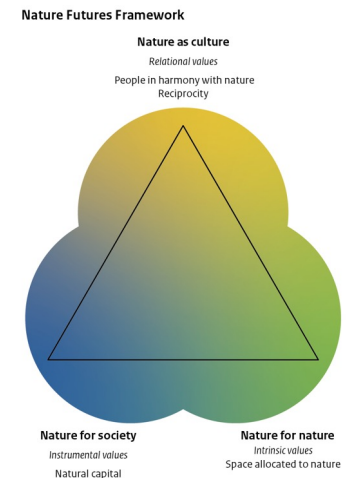
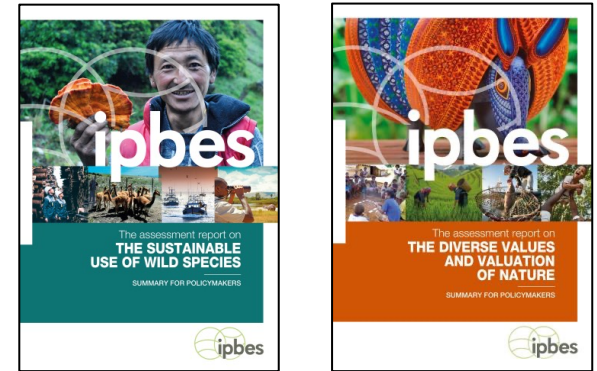


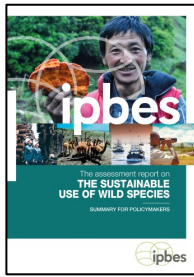
# IPBES総会第9回会合

2022年7月3日～9日@ドイツ・ボン市

## 主要成果

- アセスメント2件の政策決定者向け要約（SPM）の採択
  - 野生種の持続可能な利用アセスメント（古川）
  - 自然とその恵みに関する多様な価値観の概念化アセスメント（吉田）
- 次期アセスメントの開始の決定
  - ビジネスと生物多様性アセスメントのスコーピング報告書
- シナリオ・モデルに関する政策支援に関する文書採択
  - Nature Futures Frameworkの基盤（橋本）





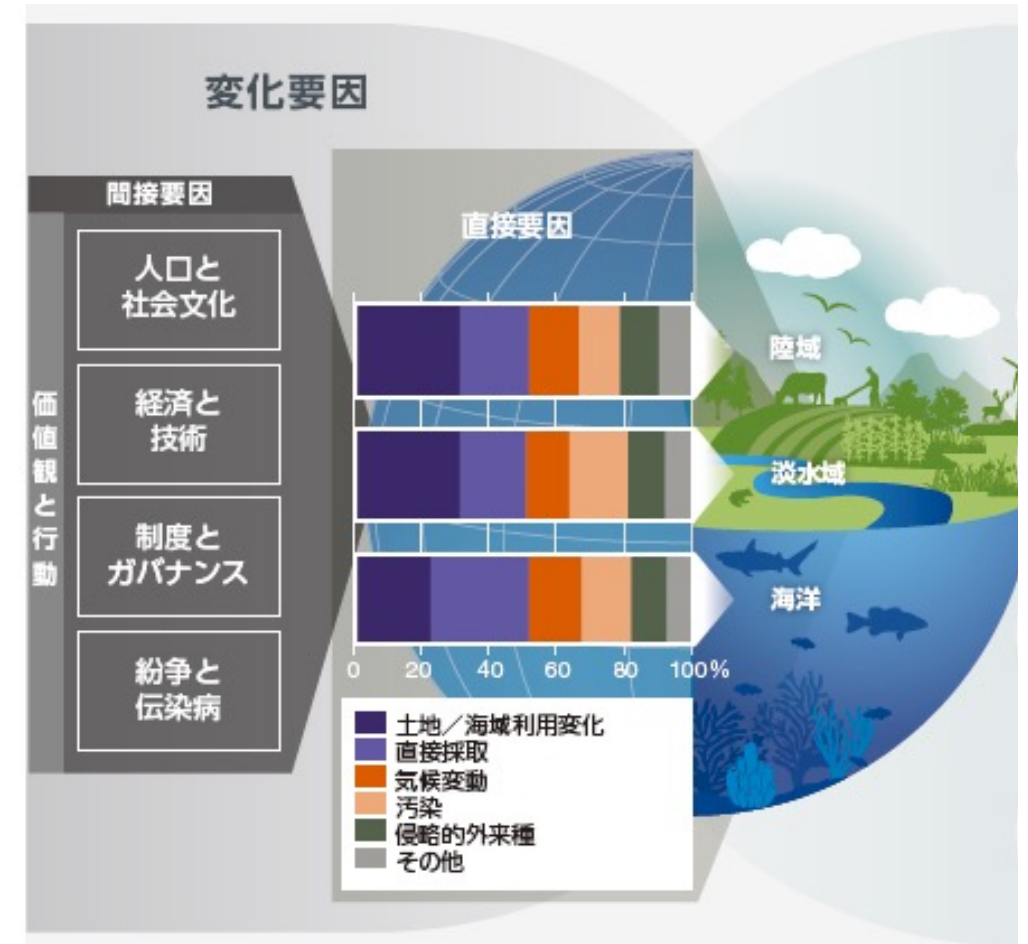
# 野生種の持続可能な利用アセスメント

## 生物多様性条約の3つの目的

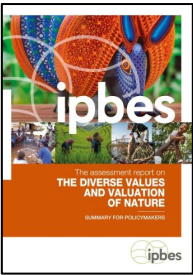
1. 生物多様性の保全
2. 生物多様性の持続可能な利用
3. 生物多様性の利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分

## 生物多様性減少の直接要因（右図）

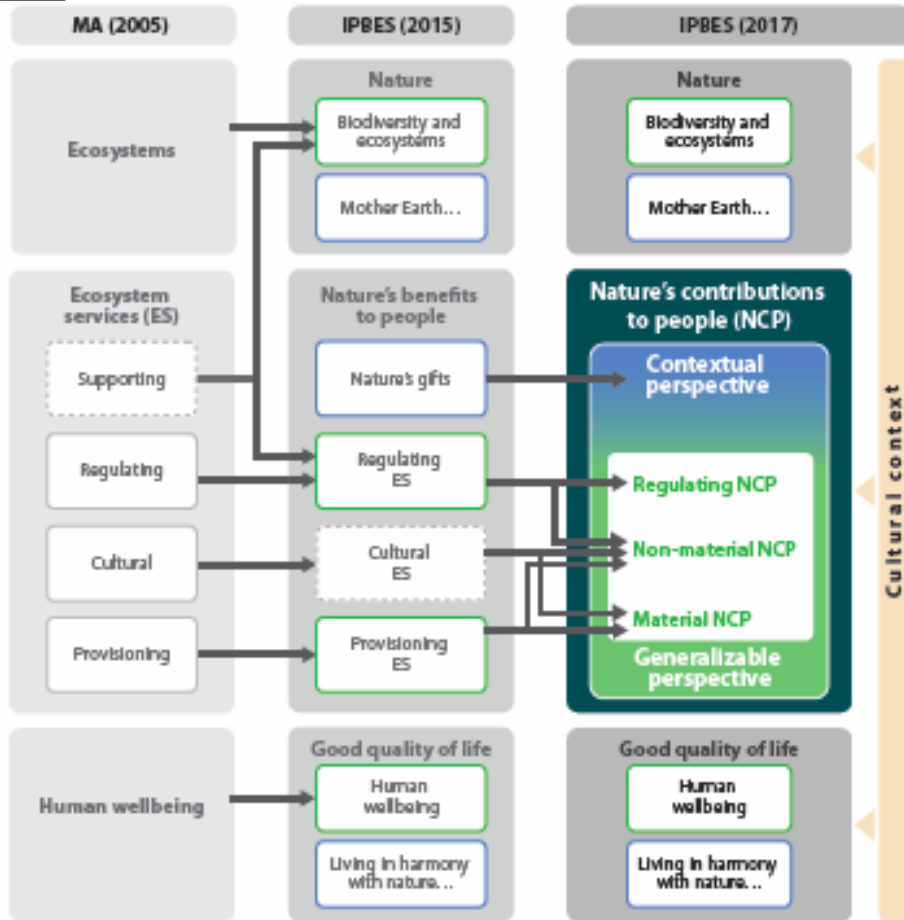
- 土地・海域利用変化
- 直接採取
- 気候変動
- 汚染
- 侵略的外来種



グローバルアセスメントFig.SPM2抜粋



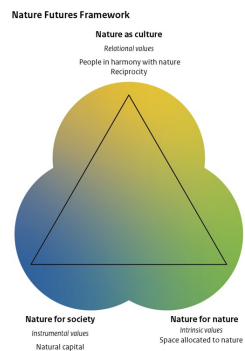
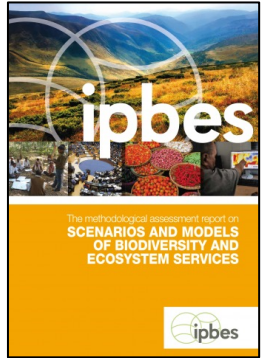
# 多様な価値観の概念化アセスメント



自然の寄与（NCP: Nature's Contributions to People）の概念的な発展

- IPBESの概念枠組みでは多角的に自然とその恵みを評価
    - 自然の内在的価値
    - 先住・地域知（ILK: indigenous and local knowledge）を含む様々な知識体系の考慮
    - 文脈的視点⇔一般化可能な視点
    - 文化的背景の影響
    - 人間の福利との関連性
  - 多様な価値観にはヒトと自然の多様で複雑な関係性が反映されている
- 新しい社会像を描き、社会変革を起こすために不可欠

# Nature Futures Framework の基盤



- シナリオ・モデルアセスメント（2016）
  - 気候変動分野で開発されたシナリオに依存
  - 生物多様性や生態系サービスは単にシナリオのエンドポイント
  - 自然と人間社会の複雑な相互作用が考慮されていない
  - 関連する多様な価値観、規範、政策目標などの統合が不十分
  - 生物多様性目標を達成するために必要な社会変革に関する知見に欠ける
- Nature Futures Framework (NFF) の基盤の採択（2022）
  - 専門家グループとタスクフォースが上記の課題に対処する枠組みを検討
  - 2050年ビジョン「自然との共生」とSDGs達成に資するシナリオ開発
  - 方法論的ガイダンスが採択され、実際のシナリオ開発は現在進行中  
→ 第2期グローバルアセスメント（予定）で適応

# 本日のプログラム

13:00~ 趣旨説明

13:10~ IPBESによる評価報告書の目的、成果、今後の展開  
尼子直輝（IPBES侵略的外来種評価技術支援機関）

13:30~ 野生種の持続可能な利用評価報告書：知識ギャップに着目した解説  
古川拓哉（森林総合研究所）

13:55~ 自然とその恵みに関する多様な価値観の概念化に関する評価報告書  
吉田有紀（国立環境研究所）

14:20~ Nature Futures Frameworkの基盤  
橋本禅（東京大学）

14:45~ 質疑応答

# お知らせ

- ご質問はQ&A欄に質問相手を明記してご記入ください。
  - 例) 「@××さん ○○について説明してください」
- 特にIPBES独特の専門用語も多いのでお気軽にご質問ください
- ご質問には各講演の後または最後にまとめて回答いたします  
(Q&A欄でも回答する場合があります)
- 本日の講演動画は森林総研YouTubeチャンネルに、発表資料は森林総研ウェブページに後日掲載いたします。